

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		農業委員会の運営		款	3	項	5	目	2	事業	1	整理番号	99	
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	産業係		連絡先電話番号		3083		昨年度整理番号	98		
上位施策No・施策名		47 新しい都市農業の推進		予算事業区分				既定事業						
事業開始		昭和	▼	26	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 農業者・農業団体及び農業委員会		根拠法令等		(1) 農業委員会等に関する法律 (2) 農地法								
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○農業者・農業団体を援助することで、農業の振興を図る。 ○農地の保全と農業経営の向上を図る。		活動指標名(式)		(1) 農業委員会総会の開催数 (2) 諸証明の承認・発行件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○農業委員会総会の開催(年12回) ○農業・農地等に関する諸証明の発行 ○農地・農業生産・経営等に関する調査指導の実施		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		(代)農家戸数							
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2)		(代)農地面積								
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	① 戸	12	12	12	12	12	12	12	12	100.0	100.0		
	活動指標(2)	② 件	79	70	71	70	77	70	70	70	110.0	110.0		
	成果指標(1)	③ 戸	179	179	176	176	173	173	173	173	100.0	98.3		
	成果指標(2)	④ ha	52.3	52.3	51.2	51.2	50.7	50.7	50.7	50.7	100.0	99.0		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	6,479	9,177	6,387	8,770	6,134	8,016	8,016	8,016	21年度予算執行率% 69.9			
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項 年度途中で農業委員が1名欠員となり、報酬・費用弁済等の減少から予算執行率が下がりました。			
	(内)委託費	⑦ 千円	0	133	107	133	0	133	0	133				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.82 0.00	0.75 0.00	1.02 0.00	1.00 0.00	1.16 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	7,495	6,788	9,231	8,879	10,300	7,991	7,991				
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	13,974	15,965	15,618	17,649	16,434	16,007	16,007	16,007				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	1,164,500	1,330,417	1,301,500	1,470,750	1,369,500	1,333,917	1,333,917	1,333,917				
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭ 千円	618	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮ 千円	/	617	617	617	623	623	623					
その他の補助金等		⑯ 千円	/	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	618	617	617	617	623	623	623					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	13,356	15,348	15,001	17,032	15,811	15,384	15,384					
受益者負担比率⑬÷⑰	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 99

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				農業委員報酬	14
		農業祭等分担金	3	件	675
		委員費用弁償・行政視察	14	人	459
		その他 (交際費など)			689
	(2)事業実績	○農業委員会総会 12回開催○行政視察 年2回 群馬と立川 青梅 ○農地法改正研究会 21年度は農地法の大規模な改正があったため、外部より講師を招きました。 ○農業委員会だよりの発行 年2回 ○農地パトロール 9月実施 農業委員会により農地の適切な管理のため、農家への指導も行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	農地面積 / 農家戸数 平成 元年4月 89.70ha / 377戸 平成22年4月 50.72ha / 173戸			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区内農家の学校給食への提供や、区民農園の利用要望状況等から、農業委員会への期待の高さがうかがえます。			
	今後の予測	農への関心の高まりや、食の安全志向、環境意識の高まり等から、都市の中の農業・農地活用が注目されています。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 都市農業を取り巻く環境変化の中で、農業委員会の指導力が大きな役割を担っています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	法令に基づく所管事項を執行するだけでなく、都市農業振興策等の調査・研究を進めます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	事業費は農業委員会運営に係るもののみです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	事業費は主に法令及び条例による委員会構成に応じた義務的経費です。			
	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄				
評価と課題	都市農業を取り巻く環境が変化する中で、農業委員会が果たした指導的な役割は高く評価できます。農業の後継者不足や税金問題等を抱えながら、一方、農への関心の高まり、食の安全志向、環境意識の高まり等、新たな社会ニーズの受け皿として、農業振興・農地活用が注目を集めています。今後益々、農業委員会による調査・研究や積極的な指導・支援が必要です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 定例的に行われる農地パトロール等の活動により、農地の保全指導が適正に行われました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 農地の保全に努めるとともに、農業振興のあり方、農地の活用について検討します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 農地や租税などの複雑な関係法令の理解と運用が必要になります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	現在、農業委員会は1名欠員で構成されていますが、23年度は農業委員改選の年にあたり、定員が正規の人数に戻ります。これに伴う報酬、費用弁償等の予算が必要となります。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		農業の支援・育成		款	3	項	5	目	2	事業	2	整理番号	100						
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	都市農業係		連絡先電話番号	3073		昨年度整理番号	99								
上位施策No・施策名		47 新しい都市農業の推進		予算事業区分				既定事業											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	26	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区魅力ある都市農業育成対策事業補助金交付要綱 (2) 杉並区企業的農業経営集団活動事業費補助金交付要綱							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○農業体験及び農産物の提供:区民が都市農業の理解を深める。 ○事業補助:先進的農業が進み、生産性が向上する。										活動指標名(式) (1) 農家戸数 (2) 区主催即売会実施日数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○ふれあい農業体験:年1回 8月実施 ○体験型農園の運営費助成:1箇所 100万円 ○先進的農業集団への補助:1集団 750万円 ○農業祭(草花植木野菜等の即売会)の実施:年1回 11月実施 ○地元野菜デー事業:区立学校給食への提供支援										成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 農地面積 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 区主催即売会売上金額 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)									
指標	活動指標(1)	①	人	179	179	176	176	173	173			98.3							
	活動指標(2)	②	日	4	4	4	4	4	4	4.0		100.0							
	成果指標(1)	③	ha	52.3	52.3	51.2	51.2	50.7	50.7			99.0							
	成果指標(2)	④	千円	2,358.0	2,500.0	2,010.0	2,500.0	2,132.0	2,500.0	2500.0		85.3							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	11,099	14,554	13,092	7,088	3,652	12,426	21年度予算執行率% 51.5									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	0	50	0	50	0	50	○成果指標名(2)の区主催即売会売上金額については、通常3月に開催される回が、21年度は会場の都合で4月実施となっているが、21年度分と見なして集計を行っています。									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.86 0.50	1.45 0.60	1.32 0.50	1.00 0.80	1.16 0.80	0.50 0.90	○21年度予算執行率の低下は、学校給食へ野菜を提供する地元野菜デー事業を見直し、区の買取提供から学校への直接販売へ切り替えたことによります。									
	人件費	⑨	千円	17,000	13,123	11,946	8,879	10,300	4,440										
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,385	1,680	1,400	2,234	2,234	2,514										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	29,484	29,357	26,438	18,201	16,186	19,380										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	164,715	164,006	150,216	103,415	93,561	112,023										
	受益者負担分	⑬	千円	8	12	15	12	15	12										
	国からの補助金等	⑭	千円	5,000	0	0	0	0	0										
都からの補助金等	⑮	千円		5,000	5,000	0	0	5,000											
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0											
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	5,008	5,012	5,015	12	15	5,012											
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	24,476	24,345	21,423	18,189	16,171	14,368											
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 100

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	企業的農業経営者の育成を目的とした助成	6	団体	1,400
		農業祭の支援	1	回	800
		地元野菜デーの実施	36	回	0
		その他 (農産物直販マップの作成 ふれあい農業体験の実施 ほか)			1,452
	(2)事業実績	企業的農業経営者活動費補助により営農環境の向上を支援しました。また、児童・生徒が区内農業に対して理解を深めるため、地元野菜デーとして小学校21校(22回)、中学校13校、養護学校1校の学校給食に区内農産物を提供しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成元年4月 農地面積:89.70ha 農家戸数:377戸 平成22年4月 農地面積:50.72ha 農家戸数:173戸			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区内農家の学校給食への提供や、区民農園の利用要望状況等から、都市農業への期待の高さがうかがえます。			
	今後の予測	農への関心の高まりや、食の安全志向、環境意識の高まり等から、都市の中の農業が注目されています。一方、担い手不足等により営農が困難な場合には、農地の活用が課題となります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 補助事業が先進的な取組を実施する強いインセンティブとなっています。また、即売会や地元野菜デーなどにより地域とのつながりが深まり、営農意欲の向上と区民の区内農業への理解が図られています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)				
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)		補助を受けた団体から他の農業者へノウハウが継承されるよう情報の共有化を図ります。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		補助事業、ふれあい農業体験については、適正な自己負担について継続して検討します。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		補助金申請者に対し、事業の計画段階から見積・入札等を徹底させ、コストを最小限にするよう指導していきます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	補助金をはじめとした各種支援事業は、農業者の経営基盤を強化し、都市農業の魅力を区民にアピールするなど、一定の成果を上げました。今後は、「農への関心の高まり」、「食の安全志向」、「環境意識の高まり」等、時代の変化に応じた新たな社会ニーズの受け皿として、農業振興・農地活用を再検討することが課題です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	学校給食へ野菜を提供する地元野菜デー事業を見直し、区の買取提供から学校への直接販売へ切り替えたことにより、公費負担なく事業実施を可能にしました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	農業者の営農意欲の向上をはかり、区民に農業・農地への関心・親しみを持ってもらおうことを目指して、減少しつつある農地の保全、農業振興に資する事業として展開します。また、農業経営に意欲的な農家に対して、補助制度を活用して支援を行い、先駆的取り組みを推進します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	農への関心の高まり、食の安全志向、環境意識の高まり等、新たな社会ニーズの受け皿として、農業振興・農地活用を見直します。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	農業者の高齢化や相続による農地継承の困難性などから、農家数・農地面積の減少は避けられないと思われませんが、事業の実施により現状を維持できるよう取り組むだけでなく、将来の都市農業のあり方について農業者・農業委員と意見交換を進めます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区民農園の維持運営		款	3	項	5	目	2	事業	3	整理番号	101	
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	産業係		連絡先電話番号		3083		昨年度整理番号	100		
上位施策No・施策名										47	新しい都市農業の推進		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	49	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 (2) 杉並区特定農地貸付規程							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○農園の提供:区民が土とふれあう機会を持つことで、農業についての理解が深まる。 ○みどりの保全:農地面積を維持するとともに、区民農園として都市の中の緑地として保全する。			活動指標名(式)		(1) 貸出区画数 (2) 農園数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○1世帯につき1区画(10㎡)をおおむね2年間、利用料年間3,000円で貸付ける。ただし、教育又は福祉を目的とする団体は無料。 ○1団体につき1区画(100㎡)をおおむね2年間、利用料年間20,000円で貸付ける。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)緑地面積 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績		計画		実績		計画		実績			
指標	活動指標(1)	①	区画	1,590	1,719	1,690	1,724	1,720	1,724	0.0	99.8			
	活動指標(2)	②	園	12	13	13	13	13	13	0.0	100.0			
	成果指標(1)	③	ha	2	2	3	3	3	3	0.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	29,717	34,790	31,210	10,415	8,587	10,599	21年度予算執行率% 82.4				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	20,350	682	635	0	0	0	特記事項 ○21年度は区民農園の新規開設が無いため事業費が減少しています。 ○抽選は隔年であるため、抽選未実施の21年度は経費が生じていません。 ○天候等の理由により、光熱水費の支出が予定より少なく抑えられました。				
	(内)委託費	⑦	千円	7,597	31,252	28,255	7,554	6,577	7,758					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.93 0.08	0.80 0.40	1.33 0.50	1.00 0.20	1.16 0.20	0.80 0.50					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,500	7,240	12,037	8,879	10,300			7,103		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	222	1,120	1,400	559	559			1,397		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	38,439	43,150	44,647	19,853	19,446	19,099					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	11,377	24,705	26,043	11,516	11,306	11,078					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	4,801	5,415	5,293	5,252	5,281			5,225		
		国からの補助金等	⑭	千円	5,523	0	0	0	0			0		
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	10,324	5,415	5,293	5,252	5,281	5,225					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	28,115	37,735	39,354	14,601	14,165	13,874					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	12.5	12.5	11.9	26.5	27.2	27.4						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 101

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				区民農園管理業務委託	13
		光熱水費			951
		その他 (事務経費等)			1,247
	(2)事業実績	区民農園13園の管理を行いました。 ○新規開設 無し ○利用者抽選 21年度無し(22年度予定)			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和49年度に開設。平成22年3月末現在、13園を運営しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	空き区画や次期抽選日時の間合せ、農園増設の要望など、利用を希望する声が多く寄せられています。一方、近隣住民からは路上駐車、ごみ投棄、薬剤散布などに対する苦情があります。また、利用者からは、他の利用者に対する放置区画や工作物設置の苦情、毛虫対策や近隣樹木による日陰への対処要望等が寄せられています。			
	今後の予測	農への関心の高まりや、食の安全志向、余暇活動への需要増等から、区民農園に対する区民ニーズは今後も高まると見込まれます。また、環境配慮の観点から農地を貴重な緑地として保全することが、より重要になります。一方、担い手不足等により、農業者から農地の公共使用の依頼が増えるものと考えられます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	土とふれあうことが都市農業振興への理解を一定程度深める機会となっています。また、緑地の保全に貢献しています。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	放置区画の把握と指導により、空き待ちの利用希望者の解消と整地コストの削減を図ります。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	利用料について、コストと受益のバランスや近隣自治体の状況などを踏まえて検討します。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	利用者抽選では毎回2倍程度の倍率になるなど、当事業は区民から高い支持を得ているものといえます。その一方、近隣住民や利用者相互の苦情があり、利用マナーの向上が課題です。今後は都市農業への理解により密接に結びつくような農地利用の方法や、農地を「緑地」として捉えたまちづくりの観点から、区民農園のあり方を検討する必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	草刈り後の廃棄物回収や不耕作区画の点検・連絡方法を改善し、効率化を図りました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	維持管理方法について包括委託や指定管理者制度等の可能性について検討します。農地の新たな公共利用方法について研究します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	農地や租税などの複雑な関係法令の理解と運用が必要になります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	区民農園開閉園の予定がなく、現状の維持管理経費に変動はありません。							